



ごじょうめ

発行／五城目町役場
編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100 (代) 印刷／五城目印刷



成功させよう
”59全国高校総体

五城目町会場 …… レスリング

8月1日～4日



林業の町としての特色をいかした町営住宅

「新里町」

（広報紙中にある写真を見たい方には）
おあげします

ふるさと散歩

木造一戸建町営住宅

公営住宅は、昭和五十一年度から五カ年計画で、神明前団地に二十二戸、広ヶ野団地（新里町）に三十一戸、合わせて五十三戸建設されました。

この公営住宅の建設は、住宅難の解消を図るとともに、林業の町として、町内で生産される資材を活用。また、関連産業の育成と雇用の促進にも、大きな効果がありました。

入居者からは、住み心地のよさと恵まれた周囲の環境に、今までにない公営住宅として、好評を得ています。

また、全国で初めての木造一戸建町営住宅であり、視察者も多く、その構造は一戸建公営住宅のモデルとして、全国的に大きな反響を呼んでいます。

昭和59年

5月1日

（毎月1日・15日発行）

No. 491

町文化財に五点を指定

町有林経営の史料など

教育委員会では、このほど五点の有形文化財を町の文化財に指定しました。

今回指定した文化財は、彫刻（銅造阿弥陀如来立像）一点、歴史資料（町山制札、大川村適産調）二点、考古資料（板碑）一点、工芸品（初代奥田道遊作の湯呑）一対です。

町指定文化財は、これで六十三点になりました。

▽初代奥田道遊作

落の葉透文湯呑・鉄軸湯呑

（工芸品）

現在、秋田市で製作販売さ

れている秋田焼の発祥地は、我が五城目町で前平山の瀬戸座の土を用いた楽焼であった。

この秋田焼は、落の葉のす

かし彫などのこまかい細工をほ

どこし、現在もそのような手

法を受け付いているが、当初

は純燃たる楽焼であった。明

治十年代と思われるが、京都

から僧形の自楽亭道人なるも

のがはいり、弟子をとって楽

焼を伝授した。初代奥田道遊

もその一人である。落の葉透

文湯呑、鉄軸湯呑はいずれも

初代道遊のものである。

分銅良一氏（紀久栄町）所

有。

▽町山制札（歴史資料）

五城目町の町山とよばれて

いる町有林は、江戸時代の早

い時期から惣有林（郷山）と

して経営され、その歴史の古

さと手入れの行き届いた林相の美しさは、県内でも有名である。

この制札は、享保七年に惣

有林入口に掲げられたもので、

朴の厚い板に墨書されている

が、文字は風雨によって薄く

なっている。

これによると町山の範囲が

わかるが、品沢山は現在に砂

沢山、鬼沢は鬼品沢と変って

いることも判明する。町有林

経営の歴史を示す一等史料と

いうべきものである。

教育委員会所有、たて三四

・三センチ、よこ五五センチ、

厚さ一・二センチ。

▽大川村適産調（歴史資料）

石川理紀之助の適産調は、

いかえれば郷土の先人たちの

手になる最初の科学的な農

村と農業の基本調査であり、

当時の人びとの志の高さを示

す報告書でもある。

それぞれの町村に残され保

管されていたはずの適産調は、

現在所在不明なものが少なくない。本町の場合は大川村の分だけが保存されているだけである。

この調査書は三部に分かれ、

集落ごとに農業、農地、土壌、

経済だけでなく、歴史、民俗、

宗教、旧跡、文化財等々、あ

らゆる項目にわたって調べつ

くされ、数字化できるものは

表に、地図化できるものは色

別の地図などにされている。

さらに、これらのデータをも

とに今後の農業振興方策と生

活の基本策が述べられている。

すでに百年近い年月を経て

いるが、郷土の先人の農村農

業への積極的な姿勢と、当時

の生活を知るための貴重な資

料である。

教育委員会所有。

▽銅造阿弥陀如来立像（彫刻）

帝釈寺のケヤキの巨木は、

昭和五十一年に町文化財に指

定されている。その根方の小

さな石の祠（ほくら）に、阿

弥陀如来像が安置されている。

この立像は、鋳出しがすっ

きりしているが、螺髪以外は

比較的大まかな造りとなっ

ている。しかし、中品下生の印

相を示す両手と指の形は、繊

細で優雅である。また、相好

はおおよそ仏像らしい趣き

があって、人間的なあたたか

ささえ感じられる。頸（くび）

のしわや胸など、リアルで生

々しい所のあるのも、仏像と

して面白い。

そうしたことを考えると地

方の仏師や鋳物師の製作にな

るもので、江戸時代も早い時

期のものと思われる。

帝釈寺町内会所有、高さ三

四センチ。

▽板碑（考古資料）

湖東部一帯には、十四世紀

中期の板碑が多くみられ、県

内では最も集中的に発見され

る地域となっている。その中

で、現在のところこの地域の

東端を示すのがこの板碑であ

る。また、本町に残る板碑の

中で、最も形の整ったものの

一つといえる。石質は安山岩。

前面を額部を残して縦長方

形に平らにしてあるのは、板

碑の典型的な形である。その

枠内上部に葉研彫で種子パン

（金剛界大日をあらわす）が

刻まれ、その下に貞治五年（

三六六）の年号が刻まれている。

貞治は北朝年号である。

所在地・小池神明社境内、

小池神明社所有、高さ一二〇

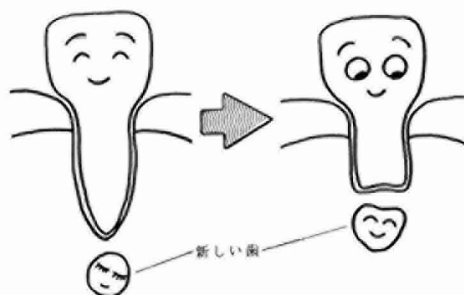
センチ、幅三三センチ、厚さ

四二・五センチ。

歯の健康シリーズ

No. 3

歯のはえ変わり



▽早い乳歯の形成

乳歯の芽（歯胚）は、

は、妊娠七週ころからでき

始め、生後六カ月くらいに

なると前歯ははえて、二歳

半ころには二十本の乳歯が

はえそろういます。

個人差はありますが、十

二、三歳ころまで存在し、

あとは脱落して永久歯と交

代します。

▽生涯使い続ける大切な歯

永久歯は六歳から十三歳

ころまで乳歯とはえ変わり、

智歯（ちし）（親知らず）四

本合わせて、三十二本はえ

ます。これは生涯使用され

る歯となります。

最初にはえる永久歯を第

一大臼歯といい、その芽は

すでに妊娠五カ月ころにで

ます。

き始め、小学校に就学する

ころ、ようやく口の中に勇

姿を見せてくれます。実に

長い長い歳月をかけてはえ

てくるのです。こんなに長

い年月を費してはえてきた

歯を、わずかな期間でむし

歯にしてしまうことは、全

くもったいないことです。

第一大臼歯は六歳臼歯と

もいわれ、あとからはえて

くる永久歯の位置を決める

とても大切な歯です。

丈夫な歯づくりをするた

めには歯の形成期から完成

期までのバランスのとれた

栄養と、子どもの食物に対

する配慮、偏食しない子ど

もにすることが、お母さん

の重要な役目になってくる

のです。

交通指導隊

15人に辞令を交付



町長から辞令を受ける隊員

交通指導隊員への辞令交付は、四月二日、役場庁議室で行われ、隊員一人ひとりに町長が辞令を手渡しました。辞令を受けたのは女性二人を含む十五人で、村上さん、朝野さん、金子さん以外は、再任のベテラン隊員です。隊員の任期は二年。

猿田日出男（上樋口）隊長
佐々木広志（田町）副隊長
千田 卓男（野田）

今村 龍雄（御蔵町）
伊藤 金三（田町）
遊佐 明（中川原）
笹川 哲男（下樋口）
富樫 俊廣（一番町）
斎藤 健蔵（畑町）
小森隆一郎（仲町）
島崎 喜明（大川）
工藤 昌子（一番町）
村上 敬二（新畑町）
朝野 暢稔（上山内）
金子 愛子（西野）



銅造阿弥陀如来立像



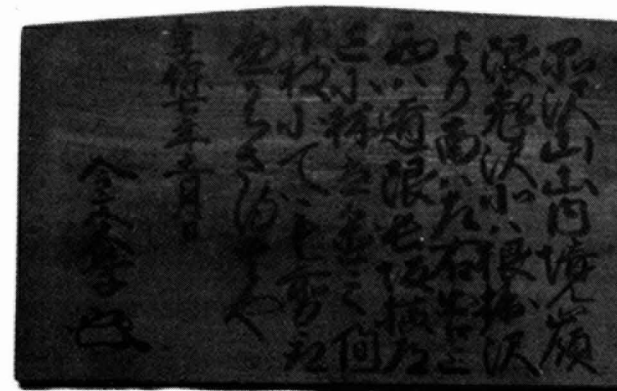
板 碑



落の葉透文湯呑（右）と鉄釉湯呑



大川村適産調



町山制札

地ドリ

ヒナの購入費を助成
申請書は6月30日までに地ドリ（にわとり）を飼育しようとする人に、ヒナの購入費の一部を助成します。

これは、地ドリの飼育を定着させ、町内の休養施設や料理店、旅館などに新鮮な地ドリを供給して、本町特産品の「だまこもち」を観光商品の目玉として売り出そうというものです。

助成額は一羽当り百円です。助成を希望する人は、六月三十日までに、申請書（役場農政課にあります）を農業協同組合に提出してください。

▽条件

①地ドリの放し飼いができ、販売要請に応じられること。
②購入羽数は三十羽以上百羽まで。
③購入は農業協同組合を経由して行うこと。

▽対象となる地ドリ
原則として肉卵兼用種（ゼンタック種、ブリモスロック、比内ドリ）の中ヒナ。オス、メスは問いません。

▽問い合わせ先 役場農政課

和牛導入農家に援助

申し込み期限は5月31日

繁殖和牛を導入する農家に對して、利子補給の援助をします。導入を希望する農家は、六月三十日までに農業協同組合、または役場農政課に申し込みください。

援助を受けることができる

条件、導入方法は次のとおりです。詳しい内容は役場農政課におたずねください。

▽条件

①稲作農家の複合経営として、繁殖和牛の増頭計画をもって、三、四年後におおむね五頭以上飼養が可能なもの。
②五城目町和牛組合に加入し、和牛飼養農家と連帯して本町の畜産振興に努めるもの。

▽和牛導入方法

①導入を希望する農家は、家畜導入申請書と経営計画書を農業協同組合長に提出しなればなりません。

②和牛を導入する場合は、役場または農協と連絡をとりながら、経済連の指定する家畜市場で購入します。

③導入した牛は、秋田県畜産開発公社が農家に五年間貸付けし（限度額三十三万円）六年目に農家は元金を公社に返済します。その間の利子は、国と町が支払います。

第二十二回全町植樹祭

森山森林公園で開催

5月8日

第二十二回全町植樹祭と林野火災防止懇談会が、五月八日（火）、森山森林公園（金堀沢）と町民センターを会場にして開かれます。受付は午前十時から、植樹祭会場で行います。

日程は次のとおりです。
植樹祭 午前十時半
懇談会 午後零時半



役場大会議室で行われた反省会議

雪害対策本部を解散

被害総額 2千9百万円

五城目町雪害対策本部は、三月三十一日で解散しました。その反省会議が四月十六日、役場大会議室で開かれました。

この会議は、豪雪の体験を雪害だけでなく、いろいろな災害発生の場合にもいかそうと開かれたもので、本部長である町長をはじめ本部長、事務局員、課室長が出席しました。

町長、検討事項を指示

本部長のあいさつの後、関係部課長から被害とそれに対する措置状況の報告があり、今後の雪害に対応するための意見を交換しました。

最後に町長が「本部設置時

において、このような会議を開くべきであったとする意見に同感である」と前置し、次のような検討事項を指示しました。

- ・県、町、個人の除雪区分と排雪場所を明確にすること。
- ・積雪を考慮した道路や屋根の構造、隣家との間隔、水道、ゴミ収集、除雪機、簡易気象観測所の設置。
- ・災害補助の算出方法。
- ・夏場の気象と降雪との関係。

今年三月の末まで降雪があり、町内最高積雪は三月に入ってから記録するなど、大雪に加えて異状降雪でした。三月三日に消防署前で記録した最高積雪量八七センチは、過去五年間の平均積雪量の二倍以上です。

町では、道路交通の確保に全力を尽しました。除雪期間は延べ八十五日、道路の除雪は延べ、業者に委託した約二四キロを合わせると九八キロ以上にもなります。除雪に要した経費は約三千四百万円、例年の三倍から六倍に相当します。

町内被害総額は、二千九百

四十三万七千円で、凍結や着雪による林産被害が最も大きく、二千四百十二万六千円となっています。また、今回の豪雪により重傷者三人をだしました。

消防職員の出勤延人数は五十二人、消防団員の出勤延人数は八十人となっています。町内被害状況は次のとおりです。

- ・住宅一部破損 三棟 四三万六千円
- ・非住家（公共建物） 一棟 六三万二千元
- ・二棟 三七万八千円
- ・文教施設 四カ所 四七万五千元
- ・林産被害 二四二万六千円

高校総体期間の
売店設置は
許可が必要

今年度、本県で全国高等学校総合体育大会が開催されます。本町では八月一日（水）から八月四日（土）まで、広域体育館を会場にレスリング大会が行われます。

この期間中に売店を設置したい方は、その許可を受けるため手続きが必要です。なお、売店設置希望の申請期間は五月十二日（土）から六月十五日（金）までとなっています。申請期間前に関係書類を交付します。インターハイ五城目町実行委員会事務局（広域体育館）へおいでください。

お知らせ



5月10日～16日
愛鳥週間

社員、 社費増強に協力を

五城目日赤分區

日本赤十字社は、毎年五月一日から三十一日までの一カ月間を「赤十字運動強調月間」とし、全国一斉に社員、社費の増強運動を展開しています。

この運動の目的は、国の内外にわたる各種事業が円滑に行われるよう赤十字社員の増強と事業資金の募集、そして赤十字思想の普及を図り、町内のみなさんに赤十字を理解していただくというものです。

赤十字は自分の余暇や労力または能力を社会のために奉仕して下さるみなさんや、赤十字社員として社費、寄付金を出して赤十字事業に協力されるみなさんによって支えられています。

県支部では、社員一人当たり社費五百円としています。本町では社員一人当たり四百五十円を目標としています。また、千円以上の社費を収められる方を特別社員としています。

水道工事店の 指定と廃業

五城目町日赤分區では、赤十字の公共的な使命を理解していただき、なお一層の支援と協力をお願いしています。

五十九年から、新たに畑沢電気店が水道工事店に指定されています。

また、北嶋電気水道工事店と宮城電気商會は、都合により水道工事店を廃業しています。

指定店

畑沢電気店（湯ノ又）

畑沢忠一郎 電話54-2426

※他の指定店については、広報四九〇号（四月十五日発行）に掲載してあります。

廃業

北嶋電気水道工事店

北嶋富弥（大川）

宮城電気商會

宮城光広（新町）

バスケットボール 男子・女子部員募集

五城目バスケットボールクラブでは、男子と女子の部員を募集しています。

▽練習日 毎週月・木曜日

午後7時

▽場所 五城目第一中学校

▽連絡先 原田功輝

電話 54-2226

電動務先 52-2100

（役場建設課）

カメラレポート



馬場目川をきれいに

— 五高生がクリーンアップ —

五城目高校のみなさんが、4月24日、同校前を流れる馬場目川をきれいにしようと、雪どけとともに目につくようになった堤防や川原に散在しているゴミを拾い集めました。

範囲は、西野橋から五城目橋までの約800mと西野橋下流約300mの両河川敷。

このクリーンアップは、今年で3回を数え、郷土の環境美化と勤労体験学習の一環として、5、6校時の授業時間に行ったもの。体育着にズックといういでたちで、全校生徒474人のほかに先生たちも参加し、アキカンやアキビンなど、町のゴミ収集用の袋で約500袋を拾い集めました。



クラスごとに分担して広い護岸をそうじ



具体的に数字を示して講演する石川氏

評論家の石川氏を招いて

— 第1回文化経済懇話会 —

第1回文化経済懇話会が、4月20日、町のみなさん約130人が参加して役場正庁で開かれ、ABS秋田放送解説委員の石川嘉明氏が、「地方経済活性化対策…今、社会にどのような流れができてきているか」と題し、2時間にわたり講演しました。

石川氏は、新聞社や放送局などの要職を歴任し、現在はフリーの評論家として活躍しており、その豊富な経験と資料をもとにした講演は好評でした。

町では今後月1回、各分野の有識者を招いてこのような懇話会を開くことにしており、だれでも無料で参加できます。

お知らせ

信用金庫

仮店舗へ移転します

五城目信用金庫は、本店新築のため五月十四日(月)から仮店舗で営業します。仮店舗の場所は新町、加藤呉服店向かいです。

用いてセンターのコンピュータからいろいろな情報や文字、図形をテレビの画面に映しだすものです。

書道通信講座

受講生の募集

五十九年度町民教養書道通信講座の受講生を募集しています。この講座は、講師が作成した手本を中心に家庭で学習し、提出作品を添削して指導するものです。

▽受講料 一、〇〇〇円
▽講師(予定)
初級：菊地亮二先生
上級：中村清次郎先生

▽募集人数 初級：30名
上級：30名

▽申込み期限 5月20日
▽申込み先 公民館 電話 52-4411

毎週水曜日

体育館を無料開放

広域体育館が、五月から毎週水曜日に無料開放されます。ただし、祝日と年末年始、行事が重なった場合は使用できません。無料開放の時間は、午前九時から午後九時まで。

日曜営業給油所(5月)

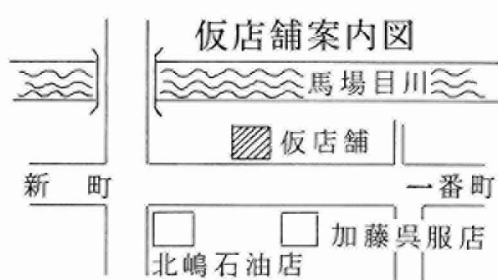
五城目・八郎湯地区

13日 湖東商事(有) 電話 75-4317

20日 石井商事(株) 電話 75-2620

27日 協和石油(株) 電話 75-3446

いろいろな電話を展示
キャブテンシステム公開
五城目電報電話局では、本町部祭典の五月十五日正午から午後九時まで、十六日午前九時半から午後四時まで、同電話局前に「電話の相談展示コーナー」を開設します。このコーナーでは、便利な電話や福祉電話の展示、試用のほか、電話についての相談、電話局に対する意見や要望を受け付けます。
また、十五日には「キャブテンシステム」の公開を行います。これは、電話回線を利用



昭和五十九年度

役場職員の定期異動

町職員の人事異動、昇格が、四月一日付で次のように発令されました。カッコ内は前任職名。

総務部長事務取扱 助役・伊藤卓治
学校教育課長(保健衛生課主査) 畠山啓作
老人ホーム森山荘施設長(同主査) 千葉哲朗

総務部

税務課主査(同係長)

伊藤 節司

税務課係長(農村整備課係長)

館岡 満

税務課主任(商工観光課主任)

沢田石敏男

税務課主事(同主事補)

猿田 秀樹

税務課主事補(同臨時雇員)

猿田 隆一

税務課主事補(同臨時雇員)

伊藤 真紀

庶務課主事(同主事補)

町長公室

庶務課主事(建設課技師補)

石川 光彦

庶務課主事補(同臨時雇員)

工藤 政彦

庶務課主事補(同臨時雇員)

伊藤 敏和

財政課主事(同主事補)

猿田 仁

財政課主事(同主事補)

長沢由紀子

財政課主事(同主事補)

石井 政則

財政課臨時雇員(保健衛生課臨時雇員)

加藤 博

秘書課主任(同主事)

館岡 研悦

文書広報課主任(同主事)

児玉 昇

文書広報課主事(同主事補)

伊藤 柳子

民生部

住民課主任(税務課主任)

小熊 信男

住民課主任(文書広報課主任)

佐藤 誠

住民課主任(同主事)

小玉 京蔵

住民課主任(同主事)

工藤 耕一

住民課主事補(財政課主事補)

嶋崎 一人

住民課臨時雇員(商工観光課臨時雇員)

小林 雅子

富津内保育所主事(同主事補)

小玉 節子

内川保育園主事(同主事補)

石井 喜美子

馬場目保育所主事補(杉沢保育所臨時雇員)

小玉 洋子

内川保育園臨時雇員(富津内保育所臨時雇員)

松橋 勇子

杉沢保育所臨時雇員(馬場目保育所臨時雇員)

石川 一重

保健衛生課係長(住民課係長)

佐藤 耕一

保健衛生課主事(同主事補)

金子 成敏

保健衛生課主事補(庶務課主事補)

千田 賢悦

老人ホーム森山荘主事補(住民課主事補)

斎藤志津男

産業部

商工観光課主査(税務課係長)

石井 和夫

農村整備課主任(保健衛生課主任)

川上 哲也

農村整備課技師補(同臨時雇員)

佐藤 清彦

林政課主任(税務課主任)

猿田 由男

林政課主任(同主事)

佐々木 巧

農政課主事(同主事補)

佐藤 真悦

建設部

建設課主査(土地調整課係長)

伊藤 弘

建設課主任(土地調整課主任)

一関 勲

建設課技師補(税務課主事補)

大石 一夫

土地調整課主任(住民課主任)

工藤 晃作

土地調整課主任(建設課主任)

北嶋 幸雄

都市計画課主任(同技師)

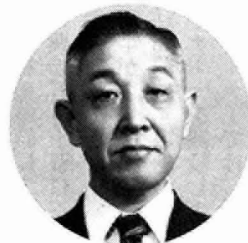
加藤 栄悦

雀館運動公園事務局

施設管理課技師(屋内温水プール臨時雇員)

伊藤 清

行政相談委員が代わって相談に



長谷川行政相談委員

役所や公社(国鉄、電々公社、公庫、公団、事業団)などの仕事について疑問を持ったら、直接関係する役

所などに申し出なくても、行政相談委員が代わって相談に応じます。

行政相談委員の仕事は、役所や公社などと住民の間にたつて、問題解決のための世話をすることです。

町内の行政相談委員は、長谷川豊さん(一番町522338)です。

相談は、直接会ってお話しするのが一番よい方法ですが、電話や手紙でもかまいません。また、秘密は守られますし、無料です。

水道課

水道課主査(建設課係長)

金野 信男

消防署

消防署副士長(同消防士)

小林 昭雄

消防署副士長(同消防士)

金野 鉄男

消防署主事(同主事補)

伊藤 満

消防署主事(同主事補)

小玉康一郎

消防署主事(同主事補)

佐藤与志美

単労職二等級から一等級へ

水道課技師補

猿田 利美

建設課技師補

猿田金一郎

単労職三等級から二等級へ

営繕課作業員

小林 清子

営繕課作業員

金野 勇悦

五城目幼稚園作業員

工藤二郎

臨時雇員採用者

文書広報課

毎月5日は「少年の日」



親子の

対話があつて

良い家庭

営繕課 佐々木義春
住民課 伊藤田鶴子
大川保育園 鳥井真理子
農政課 佐々木正人
農政課 金沢 芳彦
商工観光課 栗山加奈子
建設課 伊藤 寿保
水道課 猿田 長
施設管理課 猿田 幹也

町内小中高校 先生の定期異動

(一)内は前任校

県教職員の定期異動により
本町関係では次の先生が異動
になりました。カッコ内は前
任校。

小学校校長

馬場目(鶏木) 笹尾静雄

富津内(杉沢) 石井 武

杉沢(馬場目教頭) 三浦 稔

大川(八郎湯教頭) 工藤富雄

▼辞職 村井金作(馬場目)

伊藤 隆(富津内)

小学校教頭

馬場目(同教諭) 小野一二

井川(大川教諭) 鶴谷六郎

富津内(杉沢) 竹田謙治

杉沢(五城目一教諭) 富山正樹

五城目(大濁中) 今野睦子

馬場目(五城目) 伊藤レイ

高等学校

五城目(能代)

五城目(盲)

五城目(秋田北)

五城目(大館桂)

五城目(湯沢北)

秋田南(五城目)

秋田中央(五城目)

秋田中央(五城目)

秋田東(五城目)

勝平養護(五城目)

▼辞職 石井隆彦(五城目)

遠藤 禎

伊藤尚子

佐藤脩一

田中道夫

吉田敬子

大友靖子

佐々木武

奥村清明

上田昌之

伊藤恒男

中学校

秋田北(五城目一) 佐藤誠子

五城目一(富津内) 沢田石登

大濁(五城目一) 佐藤市之助

五城目一(杉沢) 工藤真悟

▼採用 富津内 吉田啓子

杉沢 松岡茂美

五城目一 木村時浩

花苗を各団体に配付

町では、町内をきれいにす
る運動の一環として、今年も
「花いっぱい運動」や「花だ
んコンクール」を行います。
町内会、学校、職場、各種団
体、グループなどたくさんの方
に参加をお願いします。

本年度の新しい試みとして、
苗の本数を増やすため、これ
までに入賞した団体などには、

約六百本のサルビア、マリー
ゴールドの仮植用苗(配付時
期は五月下旬ころ)と仮植用
床、花だんに使用するグリ
ンメイク(土壌改良材)三
袋を配付します。また、ペコ
ニヤは例年通りの苗を五十か
ら六十本配ります。
その他の団体などには、六
月中旬ころ、サルビア、マリ

被害に気づいたら
手を触れないで
すぐ一一〇番!!

最近、自動車を利用
するドロボーが多く、活
動範囲も広く、逃げるス
ピードも早くなっていま
す。ドロボーの被害にあ
ったり、あやしい物音を
聞いたら、すぐ一一〇番
しましょう。

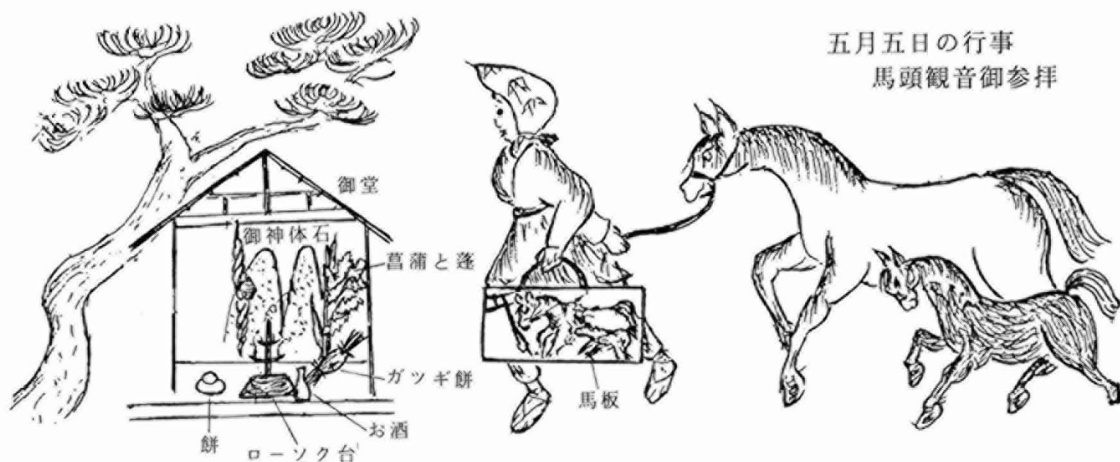
「ゴールド、ペコニア合わせ
て二百本程度配付します。
また、今年も各家庭や団体
などで育てた余分な苗を預託
していただく「草花苗の銀行」
を開設します。
花いっぱい運動に参加希望
の方や草花苗の銀行に預託く
ださる方は、町の公民館へお
願いします。
▽申込先 五城目町公民館
電話52-4411
▽締切り 五月十一日

我が村の落書

島山 鶴松

19

五月五日の行事
馬頭観音御参拝



五月五日の節句の行事
五月に入るといよいよ田植の準備
が大いそがしさである。
四日は端午の節句の前夜祭で、
家の周囲の窓や門に病難よけと五
穀豊じょうを祈って、蓬と菖蒲を
刺します。夜は、餅を神佛に供へ
菖蒲風呂に入り、食事が終ると子
供たちは菖蒲打ちをやったもので
ある。
わら一握りに蓬と菖蒲をなわで
固く巻いて束にし、
「五月の節句 当たてとがな」と
囃し地面を打ち、良くなるもの
が勝だと言ったものです。どこの
家も、どこの部落も菖蒲打ちの音、
子供達の叫ぶ声で大賑わいであつた。
五月の朝は早起きし、馬頭神社
へ馬を引いて、餅とお神酒と自分
の馬を何匹も書いた馬板を持って
行き馬頭神社に供えたものである。
ご神体は二尺ぐらゐの高さの丸
型の石で、石の頭からお酒をかけ
るもので、頭から酒をかけられる
と相染様みだつと笑つた。
五月の節句の日は、絶対馬は使
わなかつたもので、午後になると
一重一升を持参し神社の前で大祝
いするものであつた。
ゲンノショウコ、ドクダ、ヨモ
ギなどの薬草取りも五月五日の仕
事であつた。薬草は朝日の出ない
うちに取るもので、朝、馬板を神
社から持ち帰ってから行うもので
あつた。
節句の朝は鎌は手にしないもの
で、鎌を使うと早魃になると言っ
て田廻りするにも鎌を持って歩い
たものであつた。

みんなの広場

献血推進活動の

あゆみから

上田町

阿部ミワ

献血は生命を救う大切な活動の一つです。昨年度から献血推進活動をはじめ、町に献血車がくる日は一日いっぱいお手伝いをしております。これは新たに加わった奉仕活動なので、まず会長方が道をつき、次に副会長、事務局幹事、支部長へとひろげ、交替して参加してほしいと願っております。去る一月末日、その日の目標七十九本に対し八十五本という成績でした。場所は役場前、農協前、新谷菓子店前、相互銀行前、営林署前の五カ所を予定時刻の通り次々と移動します。

献血事業に奉仕してわかった事、考えた事の二、三を申し述べてみたいと思います。

一、最近では血液をそのまま輸血する方法から、患者が必要とする血液成分だけを輸血する方法がすすめられている。

二、「おめでた献血」というお産に備えての助け合いがあり利用している方が増えています。

三、献血した血液の一部で、生化学検査が行われ、七項目の検査成績が記録され本人にあてて通知がくる。健康の確認にも役立つ。

四、献血車には無線があつて、血液センターと始終連絡し合っており、需要と供給の情報が密接に行われている。

五、役所、事業所など廻ってみると他町村の方、他地区の方々の協力的姿勢が目立ち、またこの頃は、若い女性達も献血にかけつけてくださる嬉しく思った。

六、協力をお願いして戸別訪問してみると古い考え、視野の狭い考えがまだ根強いから、県・町の担当の方は開拓を継続的にすすめていただきたい。

七、五城目高校は前から続いている由、先日表彰を受けたが、生徒達が献血する現場を見て胸を打つものがあった。あの子ども達に声をかけ育ててやらなければならぬのではないかと考えた。

このほど、五城目の地域赤十字奉仕団の私達が銀色有功章をいただきましたが、献血に奉仕して成績を上げた事と、長年社費を集めるなど協力してきた歴代の奉仕団の力もあるのです。これからも奉仕団は日赤事業の推進協力をよくわきまえ、地味に、じっくり草の根のようにお互いに助け合っており、お互いに高め合っているよう、多忙な日常の中で工夫して努力していきたいと思っています。



善意銀行
預託者

(敬称略)

・1月21日
一万円

築地町 八木下照全
(高性寺御詠歌講中一同様より)

・1月26日
二十万円

西野 小勝勝太郎
(貯金箱の一円玉を寄付したもの)

・1月31日
三万三千二十八円

五城目仏教青年会
(寒修業時の浄財を寄付したもの)

・1月31日
一万円

五城目ロータリーアクト
(ダンスパーティー時の収益金の一部を寄付したもの)

・2月6日
二万円

下山内 伊藤 稔
(亡父三郎様の香典返しとして)

・2月9日
二万円

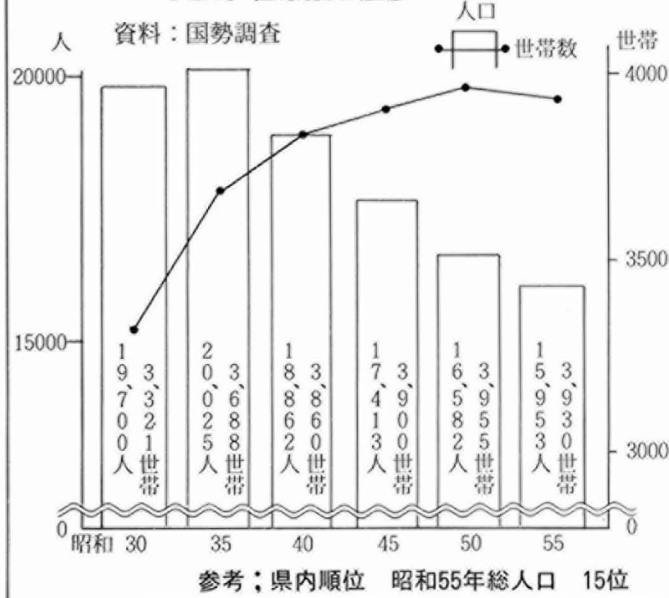
下山内 大石昭太郎
(亡母ヨキ様の香典返しとして)

・2月16日

グラフでみる町の統計 ①

人口、世帯数の推移

資料：国勢調査



五万円

イトマン駐車場利用者
代表 畠山富雄
(駐車場管理費を寄付したもの)

・2月20日
五百円

今町 畑井英文
(報労金を寄付したもの)

・3月2日
五千二百円

新畑町 伊藤光代
(健康づくり推進員活動謝礼金を寄付したもの)



善意

(敬称略)

▽雀館児童館へ寄贈
電気置時計 一台

雑誌 五十冊
ボール 十個

昭辰町 渡辺吉和

伝言板

迷子のベルシャネコ(茶色)を預かっていただきます。お心あたりの方は、連絡をお願いします。

▽連絡先 本田一彦(畑町) 電話 52-9009